

令和 2 年度

第9回（12月）教育委員会定例会会議録

日 時：令和2年12月18日(金) 14時00分～15時35分

場 所：村民センター小会議室

出席者：教育長 清水 閣成

委 員 清水 道直・林 百代・出羽澤和子・薄田 東

事務局：教育次長 伊藤 弘美

書 記：池上 博子

以上7名

傍聴人：なし

1 開 会

2 教育長あいさつ

村図書館で地域の専門家・達人の方を話題提供者としてサロン形式で「村図書サロン」を企画。また、高齢者・障がい者等図書館に来ることが困難な方に本の宅配サービスを始めました。なお、本日会終了後図書館世代間交流室で長野県宝特別展を行っております。お立ち寄りください。

3 報告・確認事項

(1) 学校給食センターについて （会議資料1）

<教育次長>

※資料にもとづき、報告がなされた。

12月全協で議会の了解をいただき、今後スケジュールのように用地決定・手続き等を進めていく。

栄養教諭・調理員等現場の声を反映していく。

<教育委員>

- ・保護者の立場に立ち、とてもありがたい、
- ・災害時の施設としての構想はあるか。

<教育次長>

- ・炊き出しなどの施設として可能性があると考えている。
- ・場所としては、児童生徒の見学等食育の場としても学校の近くを描きたい。

<教育委員>

配送車はどうなるか。

<教育次長>

予算の中に含めている。大きめの車1台で小中ピストン配送により対応できる

予定。また、小学校で受け入れができるようにしていく。

(2) 児童・生徒数について（会議資料2）

資料にもとづき、報告がなされた。

(3) 事故報告（会議資料3）

非公開

(4) 地域部活動推進事業（運動部活動）の公募について（会議資料4）

<教育長>

地域部活動推進事業（運動部活動）の公募に関しての通知があり、県としてモデル地区は2つとなると思われる。村として手を挙げるには準備期間等無理があると考えます。

本村としてこの事業について検討を進めることも大事だが、村を越えたエリアで今後の在り方を見ていくことが大事と考える。教育長部会で話題にしておくことができれば、と思う。

いずれにしろ、中学校・わくわくクラブ・教育委員会で令和5年度以降に向け、検討を進めていく必要がある。

(5) 各委員から（課題、希望）（口頭にて）

<教育委員>

南小で苦しい学級があると聞いているが。

<教育長>

承知している。教頭が学級に入る等学校体制で対応している。

(6) 12月議会定例会報告（会議資料5）

資料にもとづき、報告がなされた。

<教育長>

- ・コロナウィルス感染症の状況によるが、卒業式の在り方を柔軟に考えていく。
- ・「南中人権宣言」・「南小いじめは絶対しま宣言」・「南部小仲間宣言」のように、児童会・生徒会で情報モラルについて考え、自分たちで律していくことを大事にしたい。学校には校長会で伝えてある。

(7) 12月事業報告・1月事業計画について（会議資料6）

資料にもとづき、報告がなされた。

(8) 1月・2月定例会について

1月25日（月）14時から 予定

2月19日（金）15時から 予定

(9) その他

① 社会教育委員との懇談について

2月5日（金）19：00 村民センター

テーマについては今後検討していきたい。お考えを寄せてください。

② 子ども理解と支援の在り方（研修）（会議資料7）

1月25日（月）16：00～17：15

講師 伊那北小学校 福島徹教諭

研修テーマ 「子ども理解と支援の在り方」

- ③ 旅行行事実施ガイドラインについて（会議資料8）
資料にもとづき、説明がなされた。
- ④ 村表彰式表彰者について（会議資料9）
資料にもとづき、報告がなされた。（2名の方について報告）

4 その他
特になし

5 閉 会

以上